

令和 5 年第 2 回伊仙町議会臨時会

第 1 日

令和 5 年 2 月 28 日

令和 5 年第 2 回伊仙町議会臨時会議事日程

令和 5 年 2 月 28 日（火曜日） 午前10時33分 開議

1. 議事日程（第1号）

○開会の宣言

○開議の宣言

○日程第 1 会議録署名議員の指名

○日程第 2 会期の決定

○日程第 3 議案第 3 号 令和 3 年度喜念小学校校舎新增改築工事（本体 1 工区）請負契約の締結（提案理由説明～補足説明～質疑～討論～採決）

○日程第 4 議案第 4 号 令和 3 年度喜念小学校校舎新增改築工事（本体 2 工区）請負契約の締結（提案理由説明～補足説明～質疑～討論～採決）

1. 出席議員（14名）

議席番号	氏名	議席番号	氏名
1番	井上和代議員	2番	久保量議員
3番	大河善市議員	4番	杉山肇議員
5番	牧本和英議員	6番	佐田元議員
7番	清平二議員	8番	岡林剛也議員
9番	上木千恵造議員	10番	永田誠議員
11番	福留達也議員	12番	前徹志議員
13番	樺山一議員	14番	美島盛秀議員

1. 欠席議員（0名）

1. 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

議会事務局長 元原克也君 議会事務局書記 芳田勇也君

1. 説明のため出席した者の職氏名

職名	氏名	職名	氏名
町長	大久保明君	総務課長	久保等君
未来創生課長	佐平勝秀君	くらし支援課長	稲田大輝君
子育て支援課長	久保修次君	地域福祉課長	大山拳君
経済課長	橋口智旭君	建設課長	福島隆也君
耕地課長補佐	田中勝也君	きゅらまち観光課長	上木博之君
水道課長	富岡俊樹君	農委事務局長	豊島克仁君
教育長	伊田正則君	教委総務課長	町本勝也君
社会教育課長補佐	上木雄太君	学校給食センター所長	森一途君
健康増進課長	伊藤晋吾君	選挙管理委員会書記次長	春島弘明君
総務課長補佐	寶永英樹君		

△開 会（開議） 午前１０時３３分

○議長（前 徹志議員）

ただいまから、令和５年第２回伊仙町議会臨時会を開会します。

これから、本日の会議を開きます。

△ 日程第１ 会議録署名議員の指名

○議長（前 徹志議員）

日程第１ 会議録署名議員の指名をします。

会議録署名議員は、会議規則第127条の規定によって、佐田 元議員、清 平二議員、予備署名議員を岡林剛也議員、上木千恵造議員を指名します。

△ 日程第２ 会期の決定

○議長（前 徹志議員）

日程第２ 会期の決定についてを議題とします。

お諮りします。本臨時会の会期は、本日２月28日の１日間としたいと思いますが、ご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（前 徹志議員）

異議なしと認めます。したがって、本臨時会の会期は、本日２月28日の１日間と決定しました。なお、会期日程につきましては、お配りしてあります日程表のとおりであります。

△ 日程第３ 議案第３号 令和３年度喜念小学校校舎新增改築工事（本体１工区）請負契約の締結

△ 日程第４ 議案第４号 令和３年度喜念小学校校舎新增改築工事（本体２工区）請負契約の締結

○議長（前 徹志議員）

日程第３ 議案第３号、令和３年度喜念小学校校舎新增改築工事（本体１工区）請負契約の締結、
日程第４ 議案第４号、令和３年度喜念小学校校舎新增改築工事（本体２工区）請負契約の締結の
２件を一括して議題とします。

提出者より提案理由の説明を２件一括して求めます。

○町長（大久保明君）

令和５年第２回伊仙町議会臨時会に提案いたしました議案第３号及び議案第４号について、提案理由の説明をいたします。

議案第３号は、令和３年度喜念小学校校舎新增改築工事（本体１工区）の請負契約、議案第４号

は、令和3年度喜念小学校校舎新增改築工事（本体2工区）請負契約を締結いたしたく、地方自治法第96条第1項第5号、並びに議会の議決に付すべく契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により提案しております。

ご審議賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（前 徹志議員）

議案第3号について補足説明があれば、これを許します。

○教委総務課長（町本勝也君）

補足説明をいたします。工事名、令和3年度喜念小学校校舎新增改築工事（本体1工区）、工事場所、大島郡伊仙町喜念地内、請負契約額、一金1億3,294万6,000円、契約相手方、鹿児島県大島郡伊仙町伊仙2686番の1、有限会社幸林工務店代表取締役幸林正二でございます。

ご審議賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（前 徹志議員）

議案第3号について質疑を行います。

○14番（美島盛秀議員）

議案第3号、令和3年度喜念小学校校舎新增改築工事（本体1工区）請負契約の締結について質疑をいたします。

議案第4号も関連しますので、同時にしたいと思います。

この案件は、1月20日の臨時議会で提案をされて否決された議案であると思いますけれども、それに間違いがないですね。

○教委総務課長（町本勝也君）

ご質問にお答えいたします。議員のご指摘のとおりでございます。

○14番（美島盛秀議員）

あれから1か月足らずですよ。で、こうして分割発注と1工区、2工区に分けての発注ということになっております。

そして、先ほど全員協議会の中で説明を聞きましたけれども、1月20日の臨時議会のときには、上木課長、そして今回は町本課長。急に課長が代わってきたもんだから、私は何でかなという疑問さえ思って、職員配置表が配られまして、見てのとおりでありまして、なぜ令和3年度から4年、5年、足掛かり2年もかけて、こうして子供たちの教育をする現場学校建築に関する、こういう大きな事業がスムーズにいかなかったのか。そして、課長が急に代わったのか。そこらあたりの事情を町長説明をお願いいたします。

○総務課長（久保 等君）

ただいまのご質問であります、今回会計課長が定年を迎えるということで、以前から1月頃から計画をしてございましたが、今回この喜念小学校関係の入札もございますので、一旦1月の臨時会を開いたところでございます。

それでもまた否決ということになったんですが、その後、今回の引継ぎ等もなされないといけな
いということで、その事業の途中ではありますが、今回教育委員会総務課長と会計課長を異動させ
たという経緯でございます。

○14番（美島盛秀議員）

常識で考えてみれば、課長が代わった、3月退職だから、ということもわかります。しかし、そ
の教育委員会の部局において、そしてお互いが協力しあってできなかった部分を補佐してあげる、
そしてこの事業をスムーズに最後まで完成させる、次の引継いだ課長に責任を持って完成させる
というのが普通考えれば、こういうことを真剣に取り組んでやれば、過去でもうまくいったと思いま
す。しかし、ここらあたり私はいろんな問題点、疑問を持つところもあります。

そういうことを申し上げて、また、この入札内容についてお尋ねをいたします。

1工区が、1月20日に提案された請負金額が4億7,289万円だったと思います。今回の1工区、
2工区に分かれて、その合計が4億3,819万6,000円だと思います。

この1工区2工区に分けた理由、そして、またこの額が、差額が3,469万4,000円の差額だと思
いますけれども、この件について説明をお願いいたします。

○総務課長（久保 等君）

前回提案してございました工事については、基礎工事から本体全て入った形でございましたが、
今回基礎それから本体の1、2工区というふうに分けてございますのでその基礎工事の部分も入っ
てくるので、前回の4億7,000万の数字になると思うんですが、工区分けについては、今年度中に負
担行為を起こさないといけない、そういったものを鑑み、また工期等も短縮できるだろうという見
込みの中で、工区分けをしております。

○14番（美島盛秀議員）

今回の合計額が5億6,863万5,000円だと思います。全協での説明で1工区、2工区、そして地盤改
良工事、電気設備（1工区）、電気設備（2工区）、給排水設備、空調設備、施工管理事務、合わ
せて5億6,863万5,000円になるわけなんですけども、なぜ、1月20日に提案された工事案件が、そ
の入札についてこの説明ができなかったのか、このようなスムーズにいくような入札結果ができな
かったのか。当時1工区、2工区に分けられなかったのか。と言いますのは、新庁舎のときにいろ
いろ問題がありました。

そういうことを鑑みて私は今言っているんですけども、なぜ1工区、2工区に分けてスムーズに
議会で議決でいれるような、そういうことができなかったのか。

私はいつも言います。あまりにも議会の軽視し過ぎている。どうにかすれば議会は通ってくれる
だろう、通してくれるだろう。私もこういう質疑をするのに、本当に残念な思いをしながら質疑を
いたしております。

前回の反対理由もそうでした。子供たちの新しい校舎を、希望する子供たち、あるいは地域の皆
さんの気持ちを考えたときに、早急に校舎建設は進めていかなければいけない。また後にも新校舎

建設は続いております。しかしながら、こういうような最終の結果になってしまった。そういうことを鑑みて、これは令和3年度の予算でありまして、既に事故申告をしているということでありまして、すけれども、これ、今日が28日、今日最終の2工区の入札の議案の提案があったのは、その事故申告の期限とか工期とかそういう関係はどうなっているのか説明をお願いいたします。

○教委総務課長（町本勝也君）

ただいまのご質問にお答えいたします。

事故繰越しの件でございますが、ただいま県を通じて手続について調整を行っております。ただ、今回の議会におきまして議決を頂かないことには、事故繰越しの手続が踏めないということでありますので、現在はそのような形で対応している状況でございます。

○14番（美島盛秀議員）

私は冒頭申し上げたように、課長が年度末になって代わっている、令和3年度の予算が2年がかりでも、延び延びになって今日になってしまった。

町長にお尋ねしますけれども、私は入札関係を最終的には私が責任を持ちますという答弁が以前ありました。この入札関係にも町長が責任があると思います。私はそのときに副町長がいなくて総務課長、同じ職員が責任を持って、こういうことができますか、ということを申し上げました。

町長も副町長がいなくて総務課長が大変、私も憂慮していると。総務課長が大変忙しくて私もいろいろ考えていると、前向きに進めていくということを言いましたけれども、私は、本当に町長が5期6期続けてやってきた本当の政治家であり、地区の代表として真剣に取り組んできたから、そこさえも私は疑問を持っております。

こういうことを申し上げながら、私はオール伊仙町で頑張ってくれと、頑張ってくださいということを常日頃言ってきました。しかしながら、最終最後になってこういう課長が代わったり、こういう結果になってしまったということは、私は伊仙町の異常事態だと。町長がいろんな事業といろんなことを取り組んでいることも分かります。

各町というのは、国の交付税で、あるいは、補助金や助成金で運営がされておまして、我が伊仙町は、わずか3%くらいの自主財源でありますので、いつも町長は行財政改革のことを言っています。そういうことを考えたときに、私は、町長の考え方があまりにも一議員として信頼性がない、信用できないという感じをするんですけれども、町長、そのことに対して見解をお尋ねいたします。

○町長（大久保明君）

先ほど自主財源の件は再度確認をしていただきたいと思いますけれども、3%よりはるかに高いと思います。

それから、今回、先ほど総務課長が話したように、教育委員会総務課長に関しましては定年ということもあり、これは前から考えていた状況でありましたので、そのことと今回の件はほとんど関係ないというふうに考えております。

そして、この議員がおっしゃるとおり副町長不在ということに関しましては、これは私もずっと念頭にありました。一刻も早く副町長を選任して、いろいろ交渉等を行っていかねばならないと考えております。

それと信頼関係というのを絶対築いていけるような形での組織をつくっていきたいと考えております。

おっしゃるとおり、対外的な行動を、今かつてないほど私は全国あちこち行動をしておりますし、その行動の理由は、やはり絶対に諦めないということでもあります。いろんなことを例えばこのほーらい館も2回否決されたけれども、何が何でも成し遂げるという気持ちでありました。なくさみ館にしてもそうだし、否決というか否定されたりした中で考えてきたことが、結果としては推進できると思いますし、信念を持って取り組んでいくということ、国・県との交渉も何回断られても粘り強くやっていくということが首長の大きな、粘り強くやっていくということが最も重要な資質ではないかと考えております。

長期間いろんなことも私も学びましたし、それから町民との融和ということは、これは本当の信頼というものをどうしたらつくり上げていくかは真剣に考えておりましたし、これからも伊仙町の融和のために、そしてその融和が大きく前進したときのこの町の総合力、力、発展性というものは、相当その潜在能力があると私は確信しておりますし、いろんな国・県と、いろんな企業と交渉する時も、そのことをしっかりと理論的にまた根拠を持って説明していくということが、改めて重要であることを確認できた状況でありますので、今後とも美島議員のいつも議会のときは、本当によく調査をして、全員協議会などでも職員も気がつかない点など、いろいろ指導していただいていると本当に感謝を申し上げます。ですから、まだまだ美島議員の考えている町長像には至っておりませんけれども、これからはしっかりと叱咤激励を受けてそれを糧として、人間としても、もっともっと成長していくようにやってまいりたいと思いますので、毎度の質問を改めて肝に銘じてこれからも頑張っていきたいと思います。

○14番（美島盛秀議員）

私も考え自体は伊仙町のため、町民のため、町長と一緒にですよ。一議員として私はいろいろ申し上げましたけれども、町長は答弁をしたら答弁の中では一生懸命頑張っていると、いろんなことに対して頑張っていると言っていますし、また、私もそれを信じて、伊仙町のために一緒になって頑張らなければいけないという思いは、いつも持っております。

しかし、私、以前にも申し上げましたけれども、外部からの圧力とか、あるいはいろんなやっかみ、いろんなしがらみ、こういうことがあまりにもあり過ぎるのではないかと。やはり町のトップとして自分の信念を貫いて、いろんなことに、こう何ていうのか関わりといいましょうか、自分の政策を貫き通すというのが私は町長には足りないのではないかと。答弁をしたら答弁をした言葉をまたもう一度思い出して、そして自分の信念を貫いて、5期も6期もするんですから、伊仙町発展が、これから大久保町長でよかったと言われるような町政になっていただくことを希望して質疑を終わ

ります。

○議長（前 徹志議員）

ほかに質疑ありませんか。

○8番（岡林剛也議員）

令和3年度喜念小学校舎新增改築工事について質疑をいたします。

議案第3号、第4号共通するんですけども、これは令和3年度の予算ですけども事故があつて事故繰越ということで、本当はこの4年度で終わらさなければいけないのを5年度までかかるわけですけども、この工期はいつまでになっているのかをお願いします。

○教委総務課長（町本勝也君）

お答えいたします、現在のところ当初の工期といたしましては、245日で設定を行おうと考えております。

○8番（岡林剛也議員）

245日といいますと、10月31日までですかね。ということですけども、これ現実的に考えて、今から10月31日までで、ちゃんと完成させることができますか。

○教委総務課長（町本勝也君）

全員協議会の中でも議員の皆様からご指摘がございました。今回、事故繰越で令和5年度中には事業を執行しないといけない状況でございます。

そういった中で工期につきましては、ご説明をいたしたとおり245日ではありますが、当面はこの245日を目標とする中で、やむを得ない事情が生じた場合には、工期等に含めましては検討していく必要があるかと思えます。

ただ、やはり令和5年度中の予算執行ということで当初の工期としては245日ということで考えております。

○8番（岡林剛也議員）

もし、この10月31日までにできなくて、このままずると工期が延びるとしますと、恐らくそれに伴って予算も増えていくと思うんですけども、その場合の予算措置はどうなるのかお伺いします。

○教委総務課長（町本勝也君）

ただいまの件でございますが、新たな増額ということについては、今のところは考えておりません。執行残を活用した中での増ということはあるかと思いますが、新たに予算を設けるということは、現在のところは考えておりません。

○8番（岡林剛也議員）

今のところは考えていないと言いますけれども、もしそうなった場合、これ今からその後に国の補助金とか、そういうものはつくのか。または、町の単独の予算でやらなければいけないのかお伺いします。

○教委総務課長（町本勝也君）

今回の補助事業に関しましては、新たな別の事業を充てるということとはできないものと考えております。そういった中で、先ほどから重複いたしますが、執行残の範囲内で対応していくと、そういったことになろうかと思えます。

○8番（岡林剛也議員）

もし工期が延びないようにするには、施工はもちろんですが、施工管理とかで2工区に分けたことで、そういうのも非常に大事になってくると思いますが、そこにはやっぱり町からも職員が派遣されて、一緒に進捗率とかそういうのを全部調べて、毎月会議とかしないといけないと思います。

そのためには、教育委員会の人員もちゃんと確保されていないといけないと思うんですが、今担当が多分一人と聞いています。一人で申請やら県の国の相手また現場そういうのを一人で見ることになると思いますが、それで大丈夫なのかどうかお伺いします。

○総務課長（久保 等君）

ただいまの質問にお答えしますが、この喜念小学校の校舎新增改築工事については管理委託も行っていきますので、その工程管理等も建築の専門家もいるわけですので、その中で遅れないような対応をとということで、その管理委託の先と、また専門の方もここに関わって工事の進捗については管理していきたいと考えています。

また、今、教育委員会に担当者という形では一人なんですが、その契約事務それから中の工事の管理というところにつきましては、職員で対応ができないということで、管理委託も設けていますので、そことの連携、それからその建築関係に詳しい技術者、そういうところと連携を取って、この工期が間に合うように、また管理を進めていきたいと考えております。

○8番（岡林剛也議員）

この事業は、そもそも令和3年なんですけども、コロナ禍やいろいろありまして、事故繰越となっておりますが、設計の遅れも多少はあったんじゃないかなと思います。その設計が、この施工管理業務に入ってますけども、だからちょっと心配してるんですけどね。その辺に関してはどうなんでしょうか。

○総務課長（久保 等君）

この当初設計委託をした会社が、今回も管理のほうに来てるわけなんですけど、そこでコロナ、そういういろいろな原因があると思うんですが、今後ちゃんとこの契約工期の中で、この仕事が納めなければ、また次控えてる現在の校舎の解体、それから外構、そこにも影響しますので、そこは契約を基に、管理もしっかりしてくれるようにということで、施工管理の会議も基に、お互いの請負者と管理者それから町を含めた形で、工期が遅れないように取り組んでまいりたいと考えております。

○8 番（岡林剛也議員）

また、この件に関して教育委員会部局の人員をこのために増やすというようなことは考えていないでしょうか。

○総務課長（久保 等君）

この人員を増やすかどうかについては、また、4月の定期の異動がありますので、その中で考えてまいりたいと思うんですが、そこで配置されたからすぐこういったことが起こらないように管理ができるものかといえば、またそういうことでもございませんので、そこはまた慎重に協議を重ねて検討に入りたいと思います。

○8 番（岡林剛也議員）

ぜひ職員一人ではちょっと荷が重いんじゃないかなと、現場に関してでは思いますので、課長または教育長もなるべくなら現場へ赴いてそこを見てほしいと思います。なるべくですね。なるべくというか必ず10月31日までにこの工事を完了させてほしいと思いますが、最後にどうでしょうか。

○教委総務課長（町本勝也君）

ご質問の点につきましては、教育委員会の中でもしっかりと受け止める形で今後対応していこうと思っております。

○議長（前 徹志議員）

ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（前 徹志議員）

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから、議案第3号について討論を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（前 徹志議員）

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから、議案第3号、令和3年度喜念小学校校舎新增改築工事（本体1工区）請負契約の締結を採決します。この採決は起立によって行います。

お諮りします。本案を可決することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（前 徹志議員）

起立多数です。したがって、議案第3号、令和3年度喜念小学校校舎新增改築工事（本体1工区）請負契約の締結は可決することに決定しました。

議案第4号について補足説明があればこれを許します。

○教委総務課長（町本勝也君）

補足説明をいたします。工事名、令和3年度喜念小学校校舎新增改築工事（本体2工区）、工事

場所、大島郡伊仙町喜念地内、請負契約額、一金 3 億 525 万円、契約相手方、鹿児島県大島郡伊仙町面縄 1969-7、豊富建設株式会社代表取締役盛 利広。

以上でございます。ご審議賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（前 徹志議員）

議案第 4 号について質疑を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（前 徹志議員）

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから、議案第 4 号について討論を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（前 徹志議員）

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから、議案第 4 号、令和 3 年度喜念小学校校舎新增改築工事（本体 2 工区）請負契約の締結を採決します。この採決は起立によって行います。

お諮りします。本案を可決することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（前 徹志議員）

起立多数です。したがって、議案第 4 号、令和 3 年度喜念小学校校舎新增改築工事（本体 2 工区）請負契約の締結は可決することに決定しました。

これで、本日の日程は全部終了しました。会議を閉じます。

令和 5 年第 2 回伊仙町議会臨時会を閉会します。お疲れさまでした。

閉 会 午前 11 時 10 分

地方自治法第 123 条第 2 項の規定により、ここに署名する。

伊仙町議会議長 前 徹 志

伊仙町議会議員 佐 田 元

伊仙町議会議員 清 平 二

